

経営比較分析表（令和5年度決算）

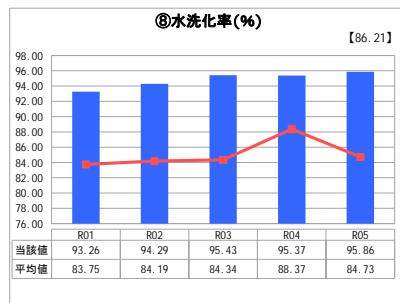
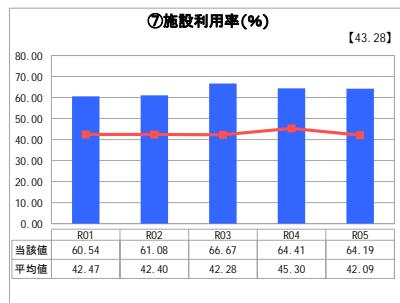
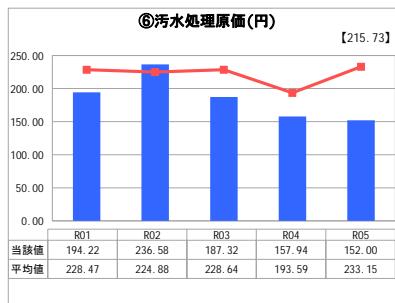
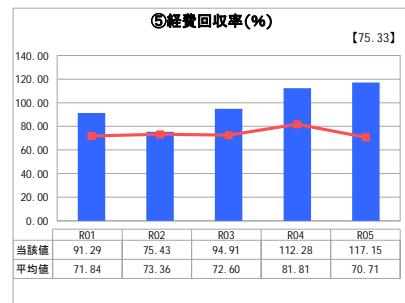
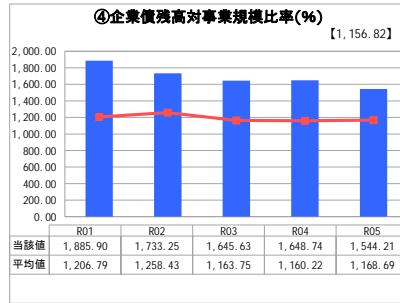
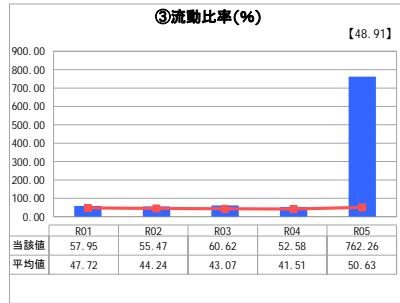
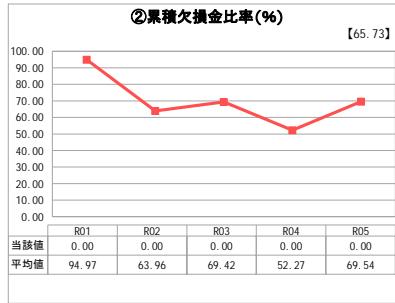
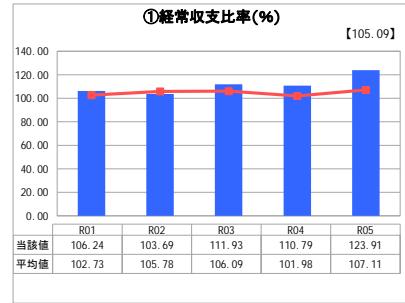
兵庫県 多可町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	67.67	18.28	83.02	3,795

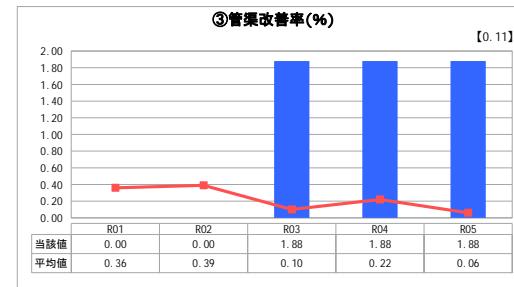
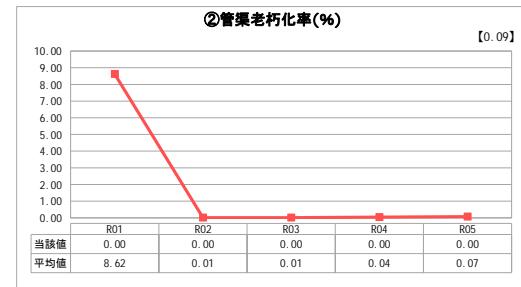
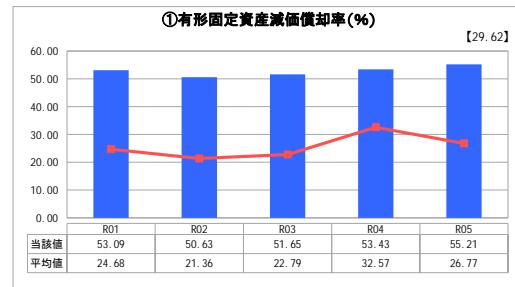
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
18,966	9.13	2,077.33
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,454	2.73	1,265.20

グラフ例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
□ 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみの類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ・経常収支比率については100%以上となっており、収支は黒字になっている。これは、繰入基準の分、流式下水道等に要する経費を繰り入れているためで、あり、一般会計からの補助金に頼るところも大きいので、補助金額の増減に影響されるところではある。
- ・流動比率は100%以上で、短期的な債務に対する返済は改善し、また、企業債残高対事業規模比率についても、償還計画に基づき着実な改善が行えている。
- ・経費回収率については、分流式下水道等に要する経費を繰り入れることで100%以上となっているが、引き続き維持管理費の削減に努めたい。
- ・汚水処理原価については、使用料単価150円/m³より高くなっている。今後は処理原価を低減させることで、維持管理費の削減が必要である。
- ・施設利用率については、令和元年度から増加している。これは、杉原谷処理区の統廃合が完了したため、維持管理費の削減が必要である。

2. 老朽化の状況について

管渠は、最も古いもので建設から30年経過度で、直ちに老朽化の問題があるわけではないが、将来の改築更新に係る財源確保に関して考えていく必要がある。

全体総括

令和元年6月末に杉原谷処理区の統廃合工事が完了した。今後、維持管理経費など経営面での改善が見込まれる。

貴船処理区については、他施設との統合が不可能なため、今後発生が予想される余剰系列の休止等、維持管理費の削減を行い、経営改善を進めていく必要がある。

さらに、今後、処理施設や管渠の更新を考慮した中長期的な収支計画を策定し、料金改定の検証を行うことで健全な経営に繋げたい。